

## SA吹田20周年記念行事

会長 小川 忠夫(18期)

「SA吹田」創立20周年記念行事計画内容が、次の通り決定しました。

### 1 創立記念セミナー開催

1) 日時: 平成22年4月22日(木)

場所: メイシアターレセプションホール

2) スケジュール 13時~16時

式典・来賓ご挨拶 吹田市長ほか  
各部会報告・・・各部の広範囲の活動状況をイベントとして発表、新しいおもちゃ作品の展示等  
演芸発表会・・・日頃活動しているパフォーマンスなど、得意芸等披露  
予定上演種目  
マジック 詩吟 軽音楽  
ゴスペル コーラス 歌声喫茶  
留学生 その他

その他、一般市民の方々のご参加も歓迎します。

3) 式典はSA吹田総会(11~12時予定)昼食休憩後、引き続いて開催します。

4) SA吹田・心ふれあいネット会員の多数ご出席はもとより、日頃ご協力頂いている各団体或いは一般市民の皆様方のご参加をお待ちしております。

メイシアターレセプションホールの利用は、食事をとることが基本となっております。そのため昼食弁当を皆でとりたいと考えております。

### 2 20周年記念誌発行

1) 編纂の基本方針

- ・ 記事内容は現在の活動状況を中心とします。
- ・ 記念誌発行は平成22年4月を目標にします。

2) 主なる内容

- ・ 歴史・沿革(設立~現在までの歩み)を追ってみます。
- ・ 歴代会長より色々思い出の寄稿を頂きます。
- ・ 皆さんよりご投稿を募集しております。思い出の活動やグループ旅行など500字以内の原稿と、写真があればその解説文をお待ちしています。原稿締め切りは12月末日。

原稿提出先: 村松章良宛

Tel/Fax 06-6876-2552

E-Mail [amura@ares.eonet.ne.jp](mailto:amura@ares.eonet.ne.jp)

3) 最近の活動状況

SA吹田全般の活動、各部会の活動状況等、昨今の広範囲の活動を紹介します。



## M U S の会の活動紹介

増山 彦一 (13期)

私たちの MUS の会(創作おもちゃ研究会)は、平成 6 年 10 月に当時 SA 世代間交流の講座を受講中の 7 期生の 12 名(市内居住者 8 名、市外居住者 4 名)の皆さん方によって結成されました。

以来 15 年を経過しましたが、その間新しい入会者があって、多い時には 27 名(平成 13 年)の会員を擁していましたが、その後会員の高齢化や健康上の理由などのより退会者が出る一方、新しく入会して頂く方もあって、現在の会員数は 18 名です。



結成当時それに参画したメンバーの皆さんが、受講中に習得したおもちゃ作りの知識を活用したボランティア活動の場を求めて、市役所の関係課(現在は児童部子育て支援課)と相談され、当時市内に 6ヶ所あった児童館(児童センター)や公民館に直接出向いて、年間の行事計画に加えていただくようにして、活動

の場を開拓されました。その結果、現在の私たちの主な活動の場は、市内 10ヶ所(本年 10 月に 1ヶ所増加)ある児童館(児童センター)と 2つの公民館です。そのほかにも毎年、市の団体が主催する各種イベントにも積極的に参加しています。

平成 20 年度の活動の実績は、各種イベントに参加した会員数延べ 85 人で、延べ 1780 人の子供たちといろいろなおもちゃを作って、楽しく交流しました。

これからも会員を増やして、活動の場をひろげていきたいと願っていますので、入会ご希望の方は 電話・FAX 6388 - 0375

(夜間)・増山までご連絡下さい。

(注: MUS の M はメイト<仲間>、U は遊ぶの<遊<sup>ゆう</sup>>の U、S は<吹田>の S の頭文字です。志を同じくする仲間が、おもちゃ作りを通して、子供たちと楽しく遊びながら、世代間の交流をする吹田のボランティアサークルという意味です)

## 「小学生と外国人の交流授業」

西山田小学校編  
国際交流部会

3 年目に入った「小学生と外国人の交流授業」支援活動は本年度も 12 校が予定されていますが、1 月 17 日は西山田小学校で行われました。モンゴル、チェコ、インドネシア、ソロモン諸島の 4ヶ国の人々が訪問し、それぞれの国の

「お国柄やお国自慢」を紹介しました。校長先生から「あまり馴染みの無い国の紹介をしてもらい非常に参考になったし、子供達も喜んでおり、是非又お願いしたい。」という感想とともに来年の予約がありました。



4 人の外国人と我々 3 人の計 7 人が 1 クラスに混じって、賑やかな給食となりました。

よその学校でもそうですが、「一番面白かったのは給食の時間に外国人と話をいっぱい出来たことです。」という感想がとても多く、給食を共にすることが一番人気のようです。会員の皆様や会員以外のお知り合いと一緒に活動したい方があれば、是非おいで下さい。外国の方は皆さん、日本語が達者ですからなにもご心配なく…。



### アイマスク体験学習に参加して

梨木 恵美子(17 期)

11 月 11 日〔水〕福社会館でアイマスクの体験講習が開催されました。各学校子供たちの福祉教育には、SA 吹田、高齢者大学校の人たちのお手伝いが大変役立っています。今回は視覚障害について、知識と経験を得るため、アイマスク使用体験の研修会が、福祉協議会の指導のもと開催されました。14 名の方が熱心な指導を受けました。

まず、子供たちにアイマスクの指導を私達がどのように教えるか、白杖の意味、点字ブロックの大切さ、基本的な介助の説明がなされました。ついで、実際に一人はアイマスクを着用し、白杖を持ち、もう一人は介助する二人一組となって、廊下、階段を通過し、どちらもその難しさを体験しました。介助する方は技術的な問題よりも、目の不

自由な方の気持ちになって手引きする。危険な場所などでは要所・要所は早目に声かけする。これが要点です。実際介助してみても、気持ちでは思っても、距離感、段差、階段の位置などはっきり伝えることの難しさを痛感しました。短時間でしたが貴重な体験でした。



## オーストラリアのこぼれ話

田原美佐穂(19 期)

シドニー滞在中に公立小学校の先生と仲良しになって、時々手話で会話して楽しんでいました。ある日、その先生が聾啞の特別学級を紹介してくれた。バスに乗ってその学校に出かけた。教室に入ると男女合わせて(4年~6年生)5人の児童が絵を描いたり、工作をしていた。全員が補聴器をつけていた。男の子が“日本人なの?”と寄ってきたので話をしていると通じるので、聞こえているんだと思った。児童たちが遊んでいる間に先生が話しをしてくれた。“オーストラリアでは難聴の障害を持って生まれてきた子供は、3歳までに耳の後ろにマグネットを埋め込む手術をして補聴器をかける”。手術代は無料である。大人になっての障害を持った人たちのためには手話の学校がある。そして、先生は声を低くして“この児童たちがどの程度耳が聞こえているのかが私には分からないのが残念です”と言った。それから、先生が児童に合図をすると5人が先生の前に座った。すると先生は自分の口元を手平で隠して話を始めた。児童たちは真剣な顔して聞いていた。これは児童たちが唇を読むことが出来るので隠しているのだと、将来大人になって社会に出て自立するには多くの困難を乗り越えな

ければならない。これも自分の耳で聞いて話す訓練の一つであると。

児童の中には二重のハンディを持っている子もいて、次は音楽の授業があるからと私に挨拶をして松葉杖をついて教室から出て行った。あまり長居してはいけないと思い先生にお礼を言ってお暇をした。さっきの男の子がバ~イと追いかけてきた。小学校に報告にいくと、その先生は“あなたは特別だったのよ。誰でもが入ることが出来ないのよ”と笑った。私は貴重な経験をしたのである。

オーストラリアの所得税は 15~20% 消費税(スーパーやショッピングセンター)等 10%

失業手当は、大きな家に住んでいて預貯金が沢山ある家庭には支給されない。

失業手当は各個人に支払われるので夫婦、18歳以上の大人、など家族で受け取ることが出来る。

シドニーは人の情けが温かく私は、しばし自分が日本人であることを忘れていた。



### 竹見台中学・小学生合同 「車椅子体験学習」「高齢者疑似体験」に参加

宮浦 ミネ子(16 期)

10月23日(金)体験学習授業の支援に参加しました。竹見台中学・小学校では、小中一貫教育モデルとして授業を開設しています。中学・小学生は各学年が1クラスしかなく、当日も中学1年生・小学4年生の60人を二組に分け、私は「車椅子学習」を担当しました。中1と小4では考え方、体力の差を気にしていましたが、日頃の交流が行き届いているためか、子どもたち



はお互い、いたわり、助け合いをしながら和やかに車椅子の体験学習をしました。子供たちが、高齢者・障害者に対して心くばり、応急の対応が出来るようにするには、今後も引き続き学習を実施することが必要だと思います。教える側としても、高齢者・子供を問わず、正しい指導が出来る必要があります。そのためにも十分な知識を持ち、体験学習の積み重ねが大切だと思います。

### 第3ブロックの紹介

第3ブロック長 沖村 史生

第三ブロックは、中環・ケヤキ通り(以南の山田東・南・西・市場、長野東・西、千里丘上・中、樫切山、新芦屋上、青葉丘北と広範囲ですが、万博公園を南・西に取り巻く環境に恵まれた所です。現在、SA 吹田会員 36 名、心ふれあい

地区	担当者
青葉丘北・新芦屋上・樫切山	武内 信憲さん
千里丘上・中・山田南	吉田 政広さん
長野東・西、山田東 1	村松 章良さん
山田東 4	松川 裕さん
山田市場	森 孝二さん
山田西 1・2	森下 貞夫さん
山田西 3・4	沖村 史生

会員9名の45名で構成されています。また、吹田通信の配布その他連絡等は、左記の方々にお願いしています。ご協力ありがとうございます。

親睦会といたしまして11月17日「万博のパークゴルフ体験」および「昼食会」を企画しましたが、雨のため昼食会のみになりました。志を同じくする会員の色々有意義な話題が尽きず4時間にわたり、楽しい時を過ごすことができました。



## 1 1 月 SA 吹田役員会議事録の抜粋

- |  |   |
|--|---|
| <p>1. SA吹田の20周年記念誌と記念行事について<br/>記念誌は12月末原稿締め、4月発行予定<br/>記念行事は総会の後、午後メイシアターで実施、概要の説明あり</p> <p>2. 次期役員の内 12月役員会で現役員の進退確認</p> <p>3. 部会報告<br/>歌体操部会 12月2日連協の交流研修会<br/>おもちゃ部会 千里高校の報告</p> | <p>国際交流部会 小学生と留学生の交流会の状況報告</p> <p>福祉部会 南山田小への応援依頼あり</p> <p>ブロック部会 第2、台3ブロックは11月17日、第4ブロックは11月29日に万博パークゴルフで懇親会を実施予定</p> <p>4. SA吹田通信78号の内 予定記事内容の検討、印刷日11月30日</p> <p>5. 次回12月11日(金)に開催</p> |
|--|---|

## SA 吹田 12 月 活動 予定

SA吹田全般	日 時	内 容	担 当	場 所
12月11日(金)	1000~1200	SA吹田役員会	総務	総合福祉会館
12月21日(月)	1000~1200	歌体操部会	藤川安高	メイシアター
12月26日(土)	900~1200	印刷/ブロック長部会	広報/ブロック長	亥の子谷コミュニティセンター
おもちゃづくり	日 時	内 容	担 当	場 所
12月12日(土)	1000~1200	おもちゃづくり市民塾	小北月子	北千里公民館
高齢者ケア	日 時	内 容	担 当	場 所
12月12日(土)	1400~1500	歌体操	加藤昌子	グループホーム「たんぼぼ」
12月18日(金)	1400~1500	歌体操	加藤昌子	弘済院第2特養
12月23日(水)	1400~1500	歌体操	船田弘子	スローライフ千里
福祉教育	日 時	内 容	担 当	場 所
12月11日(金)	1300~1530	アイマスク	三好桂子	吹田第5中学校
12月17日(木)	940~1130	車いす体験	三好桂子	片山小学校
市民塾関係	日 時	内 容	担 当	場 所
12月1、15日(火)	1000~1200	歌体操介護予防市民塾	橋本一江	総合福祉会館
12月1、15日(火)	1330~1530	エコおもちゃ市民塾	小川忠夫	SAハウス/デュオ

## 編集後記

今年も残り1ヶ月となりました。年月の経過は早いものですね。皆様のご協力により今月も無事に吹田通信ができました。インフルエンザに注意し年末を無事にお過ごしください。

(編集担当：熊田)